

# 2008年度事業計画書

財団法人 関西盲導犬協会

質の良い盲導犬を育成することにより、視覚障害者の安全で自由な歩行を確保し、その社会参加を促進して、視覚障害者福祉の向上に寄与することを目的に、当協会は寄付行為に則り下記の事業を行う。

1. 15頭育成体制を確立し、視覚障害者のニーズに迅速に対応する。
2. 新公益法人への移行準備を行う。
3. 会員増強、募金箱管理の徹底を行い、財務体質を強化する。

## I. 管理部門

### (1) 総務

#### ① 会員

インターネット・協会発行物・イベントなどで会員募集を行い、会員の増強を図る。

#### ② 募金箱

a. 募金箱の管理を徹底し増収を図る。

b. 京都市内およびその周辺地域の定期回収地域は専任パートタイマーで直接回収をする。その他の地域は従来通り振込を依頼する。

c. 啓発普及事業と連携し、新規設置店を開拓する。

#### ③ チャリティグッズ販売

在庫管理の徹底や収益率の見直しなどを行い、効果的な販売を行う。

### (2) 新公益法人対策

#### ① 移行準備

新公益法人への移行準備を進める。

#### ② 新会計基準

新会計基準への移行及び会計システムの構築をする。

#### ③ 規程の整備

各種規程類の整備をする。

## II. 事業部門

### (1) 盲導犬育成事業

#### ① 繁殖

a. 成功頭数20頭（盲導犬15頭＋繁殖犬5頭）を目標とし、パピー55頭体制の繁殖を行う。

b. AGBN（アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク）に参加する。

c. 国内外の盲導犬育成施設が保有する繁殖ラインとの交流を進める。

d. 犬の健康衛生管理の体制を整える。

## ②パピー

- a. 月1回の巡回指導及び訓練センターでの定期指導や講習会を行う。
- b. パピーのデータを収集・分析し、訓練や繁殖で活用する。
- c. パピーウォーカーの希望者を継続的に募集する。

## ③訓練

- a. 候補犬の適性評価を行い、適性のある犬に対し、盲導犬に必要とされる作業を訓練する。
- b. 視覚障害者に候補犬の長所が最大限に生かせるようなマッチングを提案する。

## ④盲導犬

盲導犬が十分なケアのもとに活動ができるような体制を整える。

## ⑤キャリアチェンジ

- a. キャリアチェンジ犬のボランティア希望者を継続的に募集する。
- b. 犬が十分なケアのもとに余生が送れるような体制を整える。

## ⑥リタイア

- a. リタイア犬ボランティア希望者継続的に募集。
- b. 犬が十分なケアのもとに余生が送れるよう体制を整える。
- c. リタイア犬のための情報の収集と提供を行う。

## (2) 視覚障害者事業

### ①歩行指導

15ユニットの共同訓練を目標とする。

### ②フォローアップ

- a. ユーザーそれぞれの状況に応じたフォローアップサービスを行う。
- b. 盲導犬歩行の不具合に対して、即時の対応を心がける。

### ③新規希望者

- a. 視覚障害者個人及び団体等单位で体験歩行を行い、新規希望者を開拓する。
- b. 待機者と定期的にコンタクトを取り、現状把握につとめる。

### ④視覚障害者を対象にした啓発活動

- a. 地域での体験歩行会等を企画・実施する。
- b. 「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を発行する。
- c. 視覚障害者が相談に訪れた福祉事務所等の行政窓口で正しい情報が得られるように、行政へ積極的に働きかける。

## (3) 相談事業

### ①システム構築

相談などに対応する事業のシステム構築を行い、盲導犬ユーザー・貸与希望者・ボランティア・一般等からの苦情や相談を迅速に対応する。

### ②初期対応

ユーザーやボランティアに能動的に働きかけ初期対応に取り組む。

## (4) 職員養成事業

### ①訓練士認定

職員仲宗根を全国盲導犬施設連合会に訓練士の申請を行い、訓練士として認定をする。

### ②研修

- a. 日本盲人社会福祉協議会・盲導犬委員会が策定した基準に基づいて研修を行う。
- b. その他、全国盲導犬施設連合会等の講座、研修会に職員を派遣し、スキルアップを図る。

## (5) 協力支援事業

### ① つつじの会

関西盲導犬協会ユーザーの会(つつじの会)の各種事業に協力する。

### ② ボランティア

- a. 当協会の犬を委託している各ボランティアに対して協力や支援を行う。
- b. クイールの会やその他ボランティア組織との連携を図る。

### ③ 他施設との連携

視覚障害関連施設や補助犬育成施設との連携により、サービスの向上に努める。

### ④ 京都府内の視覚障害者施設

- ・ 団体（京都ライトハウス・京都府視覚障害者協会・視覚障害リハビリテーションネットワーク）との連携を図り、「白杖安全デー」「あい・らぶ・ふえあ」「視覚障害者京都マラソン大会」開催に協力する。

## (6) 調査研究事業

視覚障害者関連組織・補助犬育成組織・大学等と調査研究を行い、盲導犬事業の発展に貢献する。

## (7) 啓発普及事業

### ① インターネットの活用

ホームページのメンテナンスや整備を行い、協会の情報を定期的に発信する。

### ② 積極的な支援の獲得

- a. 民間企業・各種団体等に働きかけ、情報提供を行うと共に、社員研修・企業の社会貢献等に関する企画を提案し、正しい理解の普及とともに支援の獲得に努める。
- b. 協会支援自動販売機の設置を拡張する。
- c. 学校ぐるみで取り組めるような支援活動を提案し、協力を求める。

### ③ 一般市民を対象にした啓発活動

- a. 依頼に応じて講演や盲導犬訓練実演、協会所有のビデオ・写真パネルの貸し出しを行う。
- b. 定例の見学日で個人見学者を受け入れる他、団体やグループの見学を随時受け付ける。
- c. 「ハーネス通信」を季刊誌化し、内容充実する。
- d. 亀岡市地域交流事業を計画し、地域住民との交流を進める。

### ④ 視覚障害リハビリテーション関係者を対象にした啓発活動

- a. 情報交換、訓練・指導技術のレベルアップを図るため、引き続き以下の団体に加入する。
  - ・ 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会
  - ・ 全国盲導犬施設連合会
  - ・ 国際盲導犬連盟
  - ・ 京都府福祉のまちづくり推進協議会
- b. 全国盲導犬施設連合会が実施する以下の事業に協力する。
  - ・ 盲導犬啓発のためのキャンペーン
  - ・ 「盲導犬情報」編集の受託

## Ⅲ. 整備計画

- (1) ハーネストレーニングセンターの屋根を補修する（約200万円）
- (2) 食堂およびホールのエアコン3台交換（約150万円）
- (3) 繁殖棟の設置（約150万円）